

令和7年度第6回自立支援協議会テーマ別部会 障がいのある方と防災について 議事要旨

1. 開催日時 令和8年1月30日（金） 10時～11時00分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室

3. 出席者 (委員) *団体名のみ記載

浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、浦安市聴覚障害者協会、
(福) 敬心福祉会、(福) 千楽、(福) 佑啓会、特定非営利活動法人あいらんど、
(株) 縁グループ、障がい事業課、障がい福祉課
(事務局) 浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

- (1) 令和7年度の部会活動のまとめ=提言書最終稿の確認
- (2) 次年度にむけて、継続審議が必要かどうかの検討
- (3) テーマ別部会に参加しての感想や所感

3. 閉会

5. 配布資料

・次第

・令和7年度_障がいのある人と防災_提言書案 _ 最終稿

6. 議事要旨

1) 令和7年度の部会活動のまとめ=提言書最終稿の確認

事務局より、令和7年度テーマ別部会（障がいのある人と防災）の提言書最終稿についての加筆修正等の意見の有無を確認した結果、事前送付した内容で承認するとの部会総意を確認し、令和7年度テーマ別部会（障がいのある人と防災）の提言書内容を確定した。

提言書から派生した意見については、以下の通り：

- ・民間の福祉避難所の開設については数日の時間を要する。また、福祉避難所が対象とする避難者は自事業所の通所者という方向性が提示されたことから避難先となる通所先に行くことができない、でも一般の指定避難所に行くことを躊躇して在宅避難をする場合もあるかもしれない。その一方で、通所先が無く指定避難所に避難する方もいらっしゃることを考えると、色々な合理的配慮が指定避難所で必要となる。ある程度、市内にこのような状態になる方たちがいることを把握していくことが必要かと思った。
- ・障がい者福祉センター・パティオ通所棟などは、福祉避難所として即時開設できるような体制を整えていく方がよいのではないかと思った。

2) 次年度にむけて、継続審議が必要かどうかの検討

事務局としては、議論（課題整理や分析）から実践訓練を重ねることで、防災に関する備えの実効性が高める段階に入ったと考えていると見解を提示した上で、委員の意見を確認した。

主な意見は以下の通り：

- ・話し合いの形式ではなく、実践訓練を実施していければよいと思うが、それをこの部会が担うことが適なのかどうかは検討課題かと思う。令和6年度に事業所の避難所開設訓練を部会委員にも参加してもらい外部関係者と取り組めたことは有意義であった。
 - ・事業所内で福祉避難所開設訓練を行っていなかったことから、この部会の参加を通して早急に行うべきだと所属組織内でも共有した。出来たら、訓練を行った結果を皆さんと共有する場は欲しいと思う。困ったことについても意見をもらいたい。
 - 今後、個別の避難計画フォームについても変更が入るかと思うが、その確認など継続して場を設けることは必要ではないか。
 - ・今年度の部会を通して、災害発生時の状況によって計画通り避難出来ないことが分かった。となると、計画の作成の必要性はどこまであるのだろうかと思う気持ちも沸いた。
 - 市の体制が整い、方針も確定し、民間の福祉避難所との足並みもそろってからの検討にしないと机上の空論になるように思う。
 - ・命に係わることだから部会を継続することは必要だと思う。行政から生の声を聞くことができたのは非常に良かった。決めたことを災害対応に活かせるのかの振り返りは必要だと思う。個別の避難計画は「計画」だからある意味、変わるのは当然なことでもあるが、（個別の避難計画のような）土台があって良い方向にいけるのではないか。
 - ・福祉避難所に関する認識が、登録事業者間で同じだったかと言えば、違うのだと部会に参加して思った。実践訓練のあの振り返りの場は必要だと思う。
 - ・令和6年度・7年度の提言書を踏まえ、市には環境整備を進めていただきたいと思う。
 - 市作成の福祉避難所開設マニュアルが完成し、方向性が固まってからの部会開催の方が良いと思う。
 - ・個別の避難計画を担当するにしても事務的な事柄が多かったが、この部会に参加して当事者の方・事業者の方の話を聞けたことが貴重で、今後を検討するうえでの気づきを得ることが出来た。市の福祉避難所開設マニュアルが完成して、それぞれの事業所が実際に訓練を行った結果を持ち寄って集まる等で、より議論を深めていくことが大切かと思う。毎年11月頃に市の防災訓練でも合理的配慮については年々、力を入れているので、仮設トイレ、間仕切りなどの展示もしていることから見学すると避難所運営のイメージもつくかと思う。
- 事務局より、これまでの議論の有用性を確認した上で、次年度継続審議とするかどうか確認した結果、障がいがある方への防災体制についての課題や体制についての議論は一旦終了し、市の方針が決まり実地訓練の実践後の課題を持ち寄れる段階で、本部会の開催が望ましいとの結論となつた。

3) テーマ別部会に参加しての感想や所感

- ・令和6年度・7年度の部会活動を比べると、令和6年度と違って、今年度は明確に実働することがなかったので部会に参加してのスピード感や達成感が少なかった。具体的なやることがある方がよいと思う。

- ・東日本大震災の時の経験談を聴くことができたのが大きかった。部会に参加して災害や防災についての向き合い方が変わった。
- ・色々な障がいのある方への必要な合理的配慮を知り、実際に話し合いが出来たことが良かった。
- ・部会での議論を事業所の備えに活かす、改めて事業所で点検するという行動につながったことが良かった。
- ・部会の運営が場当たり的になってしまったように感じる。次回は、小グループにわけて、委員も事前課題に取り組むなどがあれば良いと思う。事業所側の当事者意識が少ないようにも思う。皆で、福祉避難所開設訓練を見るなど具体的な連携が出来ればと思った。
- ・テーマ別部会は年間スケジュールが先に決まっていて、どういう議論をしようかという順番になってしまう。事前に部会での議論テーマを焦点化して、どれぐらいの議論が必要か設定したほうが事務局は動きやすいのではないかと思った。
- ・ボードを使った図上訓練を皆さんと行って気づきが多かった。実践的な取り組みができればと思う。

上記内容を共有して閉会。